

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第13回 川西市参画と協働のまちづくり推進会議	
事務局(担当課)		地域分権推進課	
開催日時		平成24年10月10日(水) 午後6時から午後6時40分	
開催場所		庁議室	
出席者	委員	岩崎会長、土肥副会長、荻田委員、荻本委員、岸本委員、佐伯委員、高木委員	
	その他	地域・相談課長 市民活動センター・男女共同参画センター指定管理者(特活)市民事務局かわにし	
	事務局	総合政策部長、政策推進室長、地域分権推進課長、同課主査、同課主任	
傍聴の可否		可	傍聴者数 1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		(1) 開会 (2) 基本計画の策定について(答申) (3) 閉会	
会議結果		別紙議事録のとおり	

<p>会長</p>	<p>ご案内しておりました時間が参りましたので、「第 13 回川西市参画と協働のまちづくり推進会議」を開会させていただきます。</p> <p>本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただきありがとうございます。本日、ご欠席の委員は、相川委員と奥村委員です。</p> <p>今日の予定につきましては、これまで 12 回に渡り議論を重ねてきましたが、ようやく皆様のおかげをもちまして、条例第 13 条に規定する「基本計画」について答申がまとまりましたので、市長にお渡しさせていただく、というのが議事の第 1 であります。なお、本日は、市長に公務が入っていますので、副市長に答申を受けていただくことになっています。</p> <p>前回、委員の皆さまから答申の案についてご意見をいただき、それを反映させたものを事前に皆様に送らせていただきました。その案について、若干、ご意見をいただいたものにつきましては、最終的に私と事務局にお任せいただくということにしておりましたので、最終調整をさせていただきました。</p> <p>それが、10 月 3 日付で皆さまのお手元にお届けしたものでございます。その後、今日にいたるまで、その部分について特にご意見などは無かったようですので、よろしければこの内容で答申を出したいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><承認></p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>答申のあと、委員の皆さんから、一言ずつ、この答申に込めた思いを述べていただきたいと思いますので、よろしく願います。</p> <p style="text-align: center;"><副市長入室></p> <p style="text-align: center;"><会長から副市長へ答申提出></p>
<p>会長</p>	<p>それでは、せっかく副市長さん見えておられるので、この答申に込めた思いを一言ずつお願いいたします。委員から願います。</p>
<p>委員</p>	<p>今日、答申できますことを非常に嬉しく思っております。私はこれまで川西市の一住民の立場で、毎日の生活の中で感じていることを素直に申しあげてまいりました。市長さんをはじめ職員の方、それから委員の方々にも大変ご無礼を申しあげましたこと、お詫び申し上げます。</p> <p>この中に盛り込まれていることを、これから政策展開をしていくご当局は大変ご苦勞をおかけすることになると思いますが、私どもの意のあるところをお汲み取りいただきまして、何分ともよろしく願います。つきましては、2 つばか</p>

	<p>り申しあげたい。</p> <p>1つは地域間格差という問題です。同じコミュニティと申しまして、その中には風土・文化の違いを持ったたくさんの方が含まれております。政治や行政を受けとめるまちの側に、意識とか合意形成力とか色々な力のばらつきがあります。そういうものがある程度ならされていないと、政策の効果も十分に表れてこない。ですから、今後、地域間格差というものについて官民力を合わせて、ある程度ならしていく努力が必要ではないかと。</p> <p>もう1つは老人問題です。最近、地域力ということが言われております。地域力を図る尺度というのは、文化とか生産力とか色々あると思います。しかし、それは私は人間の力だと思っています。それも人口2000とか3000とか十把一絡げの力ではなくて、そのまちに住む子供さんたちの力、若いお母さん方の力、青少年、会社勤めの人、家庭の主婦、お年寄り、こういったクラスターごとの力。これらが、それぞれ均衡のとれたバランスで発展し、伸びていく。これが強いまち、地域力のあるまちだと思います。</p> <p>特に、老人については「死ぬまで元気な老人づくり」、これを目指す方向で政策展開していただきたい。お年寄りを年寄り扱いしてしまって、本人たちもあるいはまちの方も、その人たちについてももっともっと真剣に考えていかなければならないと思っています。</p> <p>この2つを申しあげて、長くなりましたけれどもよろしく申し上げます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ずっと一貫して、委員からはスタートラインをそろえる事がすごく重要ではないかということと、今お話しがあった均衡ですね。ともすればスタートラインがそろわなくても、それが地域の個性なのではないかといついつい考えがちなのですが、そうじゃないんだよということを、いつも委員にはご指摘いただいていた。これをどう考えていくかという事は、基本計画の中でも明確にはなっていません。どういう風にブレイクダウンしていくかということは、課題としてお考えいただければと思います。</p> <p>次に、委員お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まずもちまして、1年以上、長期にわたりまして、ありがとうございました。色々勉強にもなり、非常にいい機会になりました。</p> <p>この審議会を続けていく中で感じたことは、各地域の個性とか自主性というのは当然伸ばしていかないといけないし、そこに委ねていく話なのだろうと思うのです。いいのか悪いのか、川西は各地域に本当にすばらしい方、かなり意識レベルの高い方がたくさんおられますから、逆にこれが仇となり地域間の競争になってしまわないかなと。そこは非常に心配するところだと、相変わらず思っています。</p> <p>その中でやはり、各地域の方に目を向けていただきたいのは、川西市全体が一つ</p>

	<p>の形、いわゆるオール川西という言い方をされますけれど、何らかの機会で皆さんが同じ意識をもって、同じ志でひとつの方向に向かっていけるような、そういったものも逆にあっていいと思います。そういう機会を作っていくことに少しでもお役に立てる主体は、私も事業者として出させていただいていますけれども、事業者であったり NPO さんであったり、日頃地域でいろんな活躍をされている組織の方ではないかなと思っています。</p> <p>それが、自分自身のエゴ的な話しかないと考えていたのですが、他の委員の方からも、そういった団体や事業者というものは拾っていくべきだという事で、答申の中にも、私が申しあげた以上に言葉をたくさん頂戴しておりますし、答申の中に盛り込んでいただいております。その部分は励みにもなりましたし、何とかご期待に添えるように、これからもやっていきたいなと思っています。</p> <p>ですので、ここで私がとやかく話しをするというよりも、本当に皆さんのご意見が勉強になったということで、感謝しております。ありがとうございました。</p>
会長	<p>事業者さんとしてのネットワーク力、オール川西で発揮するんだという点について、ご指摘をいただいていた。特に色んな行事、イベント等の部分でこれからもご協力いただかないといけない。お互いに WinWin の関係を築けるような、そんな協働のまちづくりでありたいなと思って、いつもお話しを聞いておりました。</p> <p>次に、委員お願いします。</p>
委員	<p>本当に 13 回目ということで、色々とお世話になりました。ありがとうございました。委員の皆様方もお疲れ様でした。また、策定にあたっては事務局の方々も大変ご苦労されまして、本当にお疲れ様です。</p> <p>これまでの話し合いで出来上がった答申が反映され、基本計画が策定されます。私たち社会福祉協議会では、ボランティアの皆さん方や地区福祉委員会の皆さんと、いかにこれから連携して協働を進めていくのかという本当に重要な役割を担っていかなければなりません。非常に責任も感じております。これからいろんな面で皆さん方と共に進ませていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
会長	<p>社協さんの地域での様々な活動、それからコミュニティや自治会、そういった団体間の様々な取組というものが、必ずしもそれぞれを理解出来ている訳じゃないということも、ここでよく問題として挙がりました。じゃあ、それをこれから人口も減っていき地域の課題も出ていくなかで、どのように解決していくのか。この推進計画で一步ずつ進んでいけばいいなと思っていますし、今後、役割というものをなお一層、地域の中で発揮をお願いしたいと思っています。ありがとうございました。</p> <p>次に、委員お願いします。</p>

委員	<p>参加して回数もそんなに多くはないのですが、地域の中で色々な活動をしていまして、やはり同じ地域の中でも繋がりが希薄です。そのことを、この前ネットワーク会議がありましたときに感じました。高齢者にしても、障がい者にしても、学校関係にしても、もう少し繋がりということを考えていったら良いかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員はこの議論に参画いただいたのは最近だったのですが、今までの活動の蓄積で色々とお指摘いただけたと思っています。</p> <p>次に、委員お願いします。</p>
委員	<p>私も 11 回目からの参加で良く分からないですけど、コミュニティの会議の時にいつもこの言葉が出てきます、「これから地域分権制度が始まる」と。我々現場の自治会長にしてみたら、極端に言えば明治維新のいわゆる黒船が来て、何が始まるのかという感じです。だから、これからラウンドテーブルが始まっていきますけれど、その前に地域分権がどんなものかという基礎的なことを、コミュニティの会議で順次、時間を組んで覚えていかないと、なかなか理解ができないと思います。そういう面が、これから私に与えられている大きな課題だと思っていますので、努力して何とか順調に乗っていけるように心がけていきたいと感じております。</p>
会長	<p>いよいよ出番という事になるんだろうと思いますけれど。ただ、今回の基本計画の策定の部分で言うと、地域分権のお話は一つのパーツです。市全体として色々な形でやっていく中の大きな課題ではありますが、なんでもかんでも地域にお任せする話しでは絶対無いはず。それをどういう風な仕組みを作っていくのか。これからいよいよ各地域に即して検討していくことになるんだろうと思います。</p> <p>次に、委員お願いします。</p>
委員	<p>私はコミュニティの代表ということですので、地域代表の立場でものをずっと言ってきました。まだまだ言いたいことはありますが、そういった事を含めて 1 年間近く、私もやはり勉強させていただきまして、NPO・事業者などの考えを地域でどういうふうに繋げていくのか、大きな課題だと思っています。</p> <p>素晴らしい条例が出来ただけに、本当に実際運営をしていく地域としては、どういうふうに地域を構成していくかということを考えれば考えるほど、今までやってきたことは無駄ではないと思っていますが、さらに新しい考えを入れていくことの難しさを考えております。</p> <p>この会議をしながら、地域で今までやってきたことを壊しながら新しく作っていく事をずっと平行に考えて実際やってきましたが、簡単ではなく、地域分権の一つでも本当に私たちが思っているレベルには到達していません。だから、委員の考え</p>

<p>会長</p>	<p>のように、本当に理解していくことが必要です。また、委員が言われたように、本当に皆さんが地域力を高めてやっていけるか。様々な意見を聞いたことを踏まえ、私たちの立場で地域を本当に構成できるのか。少し自信が揺らぎながらも、パワーを発揮して、とりあえず前進あるのみということで行きたいなと思っております。どうもありがとうございました。</p> <p>委員には、最後は副会長として、前回、私が急遽欠席してしまう中で議事の進行までしていただきました。フルにご参加をいただき、色々な形で地域の課題を率直にお出しいただきました。今回のこの議論では、素材を提供していただくという所で、非常に大きな役割を果たしていただいたと思っております。</p> <p>私自身、これだけの会議をやってきまして、次のステップへの足掛かりは何とか作れたのかなとは思っておりますが、色々な発言を全部フルに引き出せたかというところ、そういう訳ではないと思います。ただ、今後に向けての一つの取りまとめは出来たと思っております。</p> <p>まとめてしまいましたが、三井さんから一言お願いします。</p>
<p>市民活動センター</p>	<p>第3回目の推進会議で市民活動センターのことを指定管理者の立場から説明させていただく機会をいただきました。その後は、オブザーバーとして毎回参加させていただき、どのような議論がなされ、それをお聞きして市民活動センターとして何が出来るのかを考えたい、いつもこの場から吸収したいと思い、臨ませていただきました。</p> <p>いま、私たち指定管理者の第1期が今年で最終年度を迎え、第2期を申請中なので、この時期に来年度以降のことを語ることは、どうしたものか悩ましいところです。ですが、もし、これからの事を語らせていただけたら、社会福祉協議会も含めた中間支援センターの位置づけが、この基本計画が出来ることでより具体的になっていき、センターが担うことも増えていくだろうということです。社協さんとの役割分担を具体的に出しながら、オール川西での中間支援を、「つなぎ役」とか、ネットワーク化するときの「コーディネーター役」とか、色々な活動を盛り上げていくときの「ファシリテーター役」など、しっかりと機能させていきたいという思いが強くなりました。願わくは、次期も指定管理者として携わらせていただきたいと思っております。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>社協さんも含めた中間支援組織の役割はものすごく大きいと思います。地域分権の仕組みで色々な活動が出れば出るほど危惧することは、地域に即したら即すほど地域にずっぴりで、周りが見えなくなる傾向があることです。他のところを見ていたらそう思います。</p> <p>それから変な話しですが、NPOさんもミッションのために、ある意味蛸壺を掘ってしまう部分があるんですね。だから、お互いが蛸壺を掘ってしまうと繋がりが</p>

副市長	<p>ようもないし、発展のしようもありません。そういう時にちょっとその蛸壺から引き上げるといったら語弊がありますけれども、「こういうことあるですよ」と言って繋げる、それは行政がやるとどうしても型にはめるような話しに成らざるをえない。そのためにも、中間支援組織の重要性がこれから正に本番になるかなと思います。ぜひ、今後の中でご活躍をお願いしたいと思います。</p> <p>ということで、皆さん一言ずつ述べていただきました。それでは、副市長からご挨拶をお願いします。</p> <p>副市長の水田でございます。機会をいただきましたので、改めてお礼を申しあげたいと思います。今日は市長の大塩が公務により出席ができませんでしたので、私が会長から先ほど答申を預らせていただきました。大変ありがとうございました。</p> <p>ちょうど2年近く前になります。この推進会議で、基本計画の策定について私どもから諮問させていただきました。それから2年近く、途中で交代された方もおられますが、皆さま方にはエネルギーを注いでいただきました。随分熱心にご討議もされたということを毎回担当の方から聞かせていただいております、なるほどなということも多分にございました。今日は13回目の会合であります。本当にエネルギーに感謝を申しあげるところでございます。</p> <p>22年の6月に議会で議決いただきまして、「参画と協働のまちづくり推進条例」を作らせていただきました。10月1日からの施行でございます。「参画と協働のまちづくり推進条例」そのものについては、今の時代、自治体でつくことは目新しいことでは決してないと思っております。私もかつておりました兵庫県庁では、もっと前に条例は作られております。ただし、それから先というのはあまり動いていなかったという思いがいたします。</p> <p>我々川西市としては、決してそういうつもりでもございませぬし、そういうわけにもまいりませぬ。ある面で申しあげれば、市の行政の進め方、市民の皆さんとどういった形で進めるんだ、極端に言えばそのような決意をこの条例で川西市として表したものだという思いすら私の方は持っております。その延長線上に基本計画がございます。</p> <p>しかも、その当時、条例を作った時には意識を十分にしていなかった地域分権という大きな流れ、考え方もその後出てまいりました。そういったことを踏まえて、我々としては、お預かりした答申をどういう形で基本計画として進めていくのか大きな課題になってまいります。現時点で、地域分権あるいは参画と協働の推進というものの具体的な着地点が明確にあるという訳でもございませぬので、色々試行錯誤しながら、具体的な形を求めていかなければならないと思っております。</p> <p>そういう意味で申しあげますと、先ほど会長がお話をなさいました、ある面での足掛かりが頂けたという感じもいたしております。お預かりした答申に対して足掛かりだというのは随分失礼な物言いかもしれませんが、正直なところそういう気持</p>
-----	--

ちもでございます。これからは来年からスタートいたします川西市の第5次総合計画と重ね合わせながら、進めていかなければならないと思っております。

長く申しあげましたが、我々としては皆さん方の費やされたエネルギーを十分に生かしていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひしたいと思っております。我々川西市だけではなく、日本全体が今まで経験したことのないような超高齢社会、人口ピラミッドが逆さに向いているという社会が出現する訳でございます。我々としても、何かいい処方箋があるかということ、決してございません。ただ、行政を進めてまいります我々にしてみれば、そういったことを申しあげるばかりではいけません。しっかりと市民の方たちと一緒に歩んでいこう。その羅針盤を示さなければならぬと思っております。どうかこれからも、色んな面からもご示唆を賜りたいと思っております。

最後になりましたが、この推進会議委員の皆様方の温かい情熱、ご尽力に感謝、お礼を申し上げ、そしてこれからもご健康に留意をされまして過ごされますことをお祈り申しあげまして、私のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

<副市長退席>

会長

それでは、議事の2その他でございます。事務局より、今後の推進会議のスケジュールについてご説明いただければと思います。

事務局

失礼いたします。今後のスケジュールということですが、この推進会議のメンバーの皆様が2年間ということで、12月21日をもって第1期目の任期が終了となりますので、それまでのスケジュールをお話しさせていただきます。

本日答申をいただきましたが、この答申を十分反映させたような基本計画をこれから事務局の方で策定してまいりたいと考えております。こちらの目途として、11月の下旬までには素案をまとめたいと考えております。その後、議会への説明やパブリックコメントなどの手続きがございます。そのあたりを調整しますと、次回は12月上旬くらいに出来上がりました基本計画の素案を委員の皆様にご報告させていただきたいと考えております。

あわせて、推進条例により、毎年度1回、参画と協働の取り組み状況についての取りまとめと公表が義務付けられておりますので、23年度の取り組み状況をまとめたものもご報告させていただきます。委員の皆様からはご意見を賜りたいと考えております。

その1回をもちまして、今の任期での推進会議は終了となります。

<日程調整 次回は12月7日午後6時からに決定>

会長	以上で、本日の推進会議を終わります。お疲れ様でした。
----	----------------------------